

小学六年
適性検査A
—— 解答と解説

問題一
ウ
問題二
で
き
る
限
り
く
し
理
解
す
る
力

問題三
自
分
に
都
合
く
て
て
し
ま
う
人

問題四 (例)			
つ	相	が	読
な	手	ら	解
げ	の	、	力
て	ニ	他	を
い	ー	者	使
く	ズ	と	っ
仕	を	の	て
事	っ	コ	さ
。	か	ミ	ま
	み	ユ	ぎ
70	取	ニ	ま
	り	ケ	な
	、	ー	情
	ア	シ	報
	ウ	ヨ	を
	ト	ン	取
	プ	を	り
	ツ	通	入
	ト	じ	れ
	に	て	な
60			
40			
20			

(例)						
	理	い	ま	り	絶	に
	解	情	た	、	え	つ
	す	報	、	獲	ず	い
	る	で	文	得	鍛	て
	こ	も	章	に	え	、
	と	素	B	年	て	文
	で	直	で	齢	い	章
	あ	に	は	制	か	A
	る	受	、	限	な	で
	と	け	自	は	け	は
	説	入	分	な	れ	、
	明	れ	に	い	ば	ど
	さ	、	と	と	な	の
	れ	対	っ	説	ら	よ
	て	象	て	明	な	う
	い	を	な	さ	い	な
	る	認	じ	れ	も	年
	。	識	み	て	の	齢
		し	の	い	で	で
		て	な	る。	あ	も
100						20

問題五

事	主	私	の	の	と	手	ん	業		で	す	の	の	
に	張	は	読	視	は	に	で	を	文	き	る	考	考	私
対	や	読	解	点	な	共	も	見	章	る	と	え	え	は
す	立	書	力	に	い	感	、	れ	B	よ	き	や	を	文
る	場	を	が	閉	は	し	コ	ば	で	う	に	情	持	章
読	を	通	必	じ	ず	サ	ミ	わ	拳	に	、	報	つ	B
解	考	じ	要	こ	だ	ポ	ユ	か	げ	読	自	も	こ	の
力	え	、	に	も	°	ー	ニ	る	ら	解	分	受	と	筆
を	る	で	な	ら	そ	ト	ケ	よ	れ	力	の	け	自	者
引	習	き	る	ず	こ	す	ー	う	て	を	考	入	体	の
き	慣	る	と	適	で	る	シ	に	い	生	え	れ	は	意
上	を	だ	考	切	は	仕	ヨ	、	る	か	に	、	大	見
げ	つ	け	え	な	、	事	ン	A	今	し	こ	だ	切	に
て	け	自	ら	行	せ	は	を	ー	後	て	り	れ	な	同
い	て	分	れ	動	ま	不	取	や	残	い	固	か	こ	意
き	、	以	る	を	い	要	り	機	っ	き	ま	と	と	す
た	様	外	°	と	自	に	な	械	て	た	ら	課	だ	る
い	々	の	だ	る	分	な	が	化	い	い	ず	題	が	°
°	な	人	か	た	だ	る	ら	が	く	°	対	解	、	自
	物	の	ら	め	け	こ	相	進	職		応	決	他	分

440

400

300

200

(配点)

{ 問題一～問題三…各10点
 問題四…20点
 問題五…50点
 問題二・三…各完全解答 } 計100点

【解説】

問題一

B1

情報を獲得する

関係づけ

置き換え

——線①の主張に対し、筆者は二文後に「もちろん、言葉への興味や語彙の獲得にこれらの活動が有効であることが示されていますから、読解力を高める上でも良いことだと言えるでしょう」といった肯定的な反応を見せています。ただし、続く文で「しかし、幼少期の読み聞かせや絵本を読む経験が『重要で良いものである』ということは、『それがなければダメである』ということの意味するわけではありません。」と主張し、必ずしも全面的に支持しているわけではないという姿勢も見せています。幼少期を過ぎても読解力は鍛えられる、というのが筆者の主張ですから、年齢制限があるという考え方については合理的でないと考えていることが読み取れます。以上のことから、ウが正解となります。ア「悪い作用を生む場合がある」、イ「有効だと示す証拠がなく」、エ「誰もが積極的に取り組むべきだ」がそれぞれ誤っています。

問題二

B1

情報を獲得する

具体化

関係づけ

文章Bにおいて、筆者が「読解力とは何か」ということについて述べている部分を探しましょう。二行目に「そもそも、『読解力』とは何でしょうか?」という問いかけがあり、直後で「それは『読んで理解する力』『読み解く力』ということになります」と筆者なりの見解が示されています。この部分は条件に合いませんから、この後の部分で筆者が「読解力とは何か」という問いかけに対して再度主張をまとめている部分を探しながら読み進めます。すると、2ページ下段に「『読解力』とは、できる限り偏見なく情報を受け入れ、対象を認識し理解することです」

と説明した部分が見つかります。ここが「力」につながり、字数ともに条件を満たします。

問題三

B1

情報を獲得する

関係づけ

置き換え

「陰謀論に凝り固まっている人」については、2ページ下段に出てきています。陰謀論や謀略史観といった考え方に陥ってしまう人は、「情報を集めるほど、思考が偏つて」しまう人の典型的な例として挙げられています。そのような人たちの説明として、直前の部分に「他人の意見や自分とは異なる考え方を聞き入れようとしない」「自分の考えが先にあって、異質なものを受け入れない」「自分に都合のいいものだけを受け入れ、都合の悪い情報は捨ててしまう」といった説明が続いています。これらの中から、字数の条件をもとに答えをしばらくしましょう。

問題四

B2

具体化

関係づけ

置き換え

文章Bの後半に、筆者が「生き残る」と考えている職業として、「創造性の高い仕事」「コミュニケーションを取りながら相手に共感しサポートする仕事」「高度な肉体的なパフォーマンスが必要になる職業」「教育関連の仕事」が列挙されています。これらをすべて盛り込んで字数内にまとめてもよいでしょう。その場合、「創造性の高い仕事やコミュニケーションを取りながら相手に共感しサポートする仕事、また高度な肉体的なパフォーマンスが必要な仕事や教育関連の仕事」のように、本文に説明された具体例を書くようにしましょう。

また、列挙されたものをまとめて言い換えた最終段落の「いずれもさまざまな情報を取り入れながら、他者とのコミュニケーションを通じて相手のニーズをつかみ取り、アウトプット

につなげていく」という表現を使ってまとめてもよいでしょう。

※六十字未満の場合、採点対象としません。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について（12点）

誤り1か所につき、4点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘しています。

・筆者が考える「消滅せずに生き残る」仕事について書かれているか

・内容が過不足なく書かれているか

・文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

・同内容の不必要な反復がないか

形式等について（8点）

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは4点の減点となります。2つ目以降の誤りは1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・誤字や脱字がないか

・文法的な誤りがないか

・語句や言葉の使い方に誤りがないか

・常体、敬体の混在がないか

・不適切な話し言葉の使用がないか

・消し残りなどで字が見えづらくないか

・正しいマス目の使い方かどうか

・一マスに一文字が書かれているか

問題五

C3 理由 置き換え 推論

文章Aと文章Bに書かれたことを確認して、自分が身につけた読解力を今後どのように生かしていきたいか、という課題についてあなたの考えを述べる問題です。

第一段落では、文章Aと文章Bそれぞれに書かれた、読解力について筆者がとらえている内容についてまとめます。

文章Aでは、読解力には年齢制限がないこと、読解力が年齢に関係なく鍛えていくべきものであるということ、そして読解力とは実は定義があいまいなものであることが述べられています。また、文章Bでは、情報を素直に受け入れつつ対象を認識して理解すること、すなわち「思考の幅」の重要性や、AIや機械化が進む中でも生き残る職業の話を通じて、読解力を生かした仕事は今後重要になるということに触れています。

第二段落では、文章Aと文章Bのいずれかの筆者の考えをふまえて、あなたの考えを書きます。たとえば、どの年齢からでも読解力を鍛えることは可能だし重要だという文章Aの筆者の意見に同意できるのであれば、年齢に応じてどのようなアプローチで読解力を鍛えていきたいか、という観点で自分の意見をまとめることができるでしょう。また、相手の主張や立場を理解し、相手の論理で考えることが重要であるという文章Bの筆者の意見に同意できるのであれば、自分の考えだけにこだわるのではなく、読解力を生かして様々な視点を持つことを心がけ、AIや機械化が進む社会の中でどう生きていくかという観点で自分の意見をまとめることができるでしょう。

第三段落では、第二段落で述べたことについての理由を書きます。

自分の意見を述べる作文では、意見だけを書くのではなく必

ず理由を合わせて示すよう心がけましょう。そのような意見を持つようになったきっかけや根拠は何か、と明らかにすることで、より説得力のある文章を書くことができるようになります。

※四百字未満の場合、採点対象としません。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について（40点）

誤り1か所につき、5点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

第一段落について

- ・ **文章A**と**文章B**に書かれた、筆者が読解力をどのようにとらえているかについてそれぞれまとめられているか
- ・ 内容が過不足なく書かれているか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

・ 同内容の不必要な反復がないか

第二段落について

- ・ **文章A**と**文章B**のいずれかの筆者の考えをふまえて、身につけた読解力をどのように生かすかについて自分の考えが書かれているか

・ 内容が過不足なく書かれているか

・ 文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

・ 同内容の不必要な反復がないか

第三段落について

- ・ 第二段落に書いたことについての理由が書かれているか
- ・ 内容が過不足なく書かれているか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で

終わっていないか

・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について（10点）

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは5点の減点となります。2つ目以降の誤りは1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 誤字や脱字がないか
- ・ 文法的な誤りがないか
- ・ 語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・ 常体、敬体の混在がないか
- ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
- ・ 消し残りなどで字が見えづらくないか
- ・ 原稿用紙の使い方に誤りがないか
- ・ 指定された段落数で書かれているか